

### 3. 活動報告



## FEDO 事業報告：ダリット女性に対する暴力削減

2018年4月1日～2019年3月31日

### 背景

パルサのダリット地区の現状は、ネパール全体と比較して、基本的な権利や機会を得る機会をより奪われている。それを招いているのは、社会に深く根差した「不可触制」、カーストとジェンダーに基づく差別、地域の貧しさを含むさまざまな問題である。その結果、ダリット女性は、魔女狩り、少女の人身取引、レイプ、性的虐待など危険な状況に直面している。これら問題に取り組むために、FEDO パルサ支部は FEDO 本部のイニシアチブと、日本の浄土宗平和協会の財政支援と IMADR の支援をえながら 8 年間プログラムを実施してきた。

今年は“ダリット女性に対する暴力削減”というタイトルのもと、ビルガンジーの第2区、5区、8区、16区、そして25区にある15のダリット女性グループとともに、カーストに基づく差別と闘うための活動に取り組んだ。女性の権利や状況に関するトレーニングの開催、各家庭への戸別訪問、地元レベルでの調整会議、協同組合活動、意識高揚のための集会、リーダーシップ構築など、さまざまな活動に取り組んだ。この活動のもと、“ダリット・ウッタン・バチャット・タタ・リン・サハカリ・サンジャ”という名前の協同組合を150人の組合員を集めて作った。女性グループのメンバーがお金を拠出し、必要な時に貸出する組合である。今年もこのプログラムのもと、以下のようにさまざまな活動を行った。

	活動	目標	実施
1.	ダリット女性グループの結集と強化	28回	28回
2.	DV ケースの調査・記録と編集	13	13
3.	DV に反対する地区レベルの活動の四半期会議	4	4
4.	ダリット女性の課題に関する夫婦、義母・義理娘、ジャーナリストとの意見交換会	2	2
5.	保健衛生のための集会	1	1
6.	女性グループ対象のジェンダー平等と女性のエンパワメントの1日トレーニング	5	5
7.	地区レベルネットワークキングとコーディネーション	4	4

### 1. ダリット女性グループの結集と強化

各ダリット女性グループと合計 28 回のミーティングをもち、ジェンダー平等、目の健康、女性のエンパワメント、少女の人身取引、魔女狩りなどに関するエンパワメントのトレーニングを行った。ミーティングではさまざまなトピックが出てきたが、なかでも多かったのは、社会悪である子どもの性的虐待であった。その他には、幼児婚、一夫多妻、市民権、出生届け、婚姻届け、ダウリ制度、カースト差別、女性に対する暴力もトピックとし

### 3. 活動報告

て出てきた。

成果

1. 女性に対する暴力に関する議論を終え、参加者たちは問題について認識を深め、対処法について考えるようになった。
2. 女性グループは今では被害者に支援を提供し、法的対処を求めて声をあげるようになった。
3. 女性グループのリーダーシップのもと、4つの事件が地区警察、女性・子どもセンター、そして裁判所に届けられた。
4. 女性たちはジェンダーに基づく暴力と個人の生活に対する教育が果たす重要な役割について学ぶ機会を得た。
5. ジェイマハビル・ダリット女性グループは毎週 50 ルピーをグループで貯蓄し、グループ内で必要とする人に低金利で貸し付けている。
6. 女性たちは職業的な技能を身につけていき、仕事に関して以前よりも自立した考え方をもちようになった。



ダリット女性グループの定期会合

## 2. DV ケースの調査・記録と編集

貧しく経済的に困窮している女性たちに対して、政府はさまざまなサービスや便宜を揃えているが、残念なことにダリット女性たちは貧困と非識字のためにそれを十分活用できていない。一方、ダリット以外の女性たちはそれを上手に使っており、ダリット女性たちはより抑圧的で無力な状況に置かれる。こうした公的便宜をダリット女性たちが使えるよう、FEDO パルサは行政と協力して、被害者が権利を取り戻してサービスを受けることができるよう支援している。今年も FEDO は暴力や嫌がらせに合った女性たちの事件を多数とりあげ、協力した。

成果

- a. 女性たち(ダリットおよびダリット以外)は積極的に自分たちの事件を警察や裁判所に提出した。
- b. 女性たちは正義と権利について声をあげた。
- c. 組織の活動は認められ、それにより女性たちはその他の差別にも声をあげる自信を得た。
- d. 家族は被害者にたいしてより理解を深め支援をするようになった。

### 3. 活動報告

#### 3. DV に反対する地区レベルの活動の四半期会議

DV に反対する地区レベルの会合を年4回開催することができた。具体的には、6月15日、9月4日、11月28日そして2月6日であった。FEDO パルサ支部会長のナギ・デビ・ゴサイを含む合計100人が会合に参加した。

会議では以下の課題が議論された：

- \* 地方機関で執行されるべきプログラムについて。
- \* ダリット女性があらゆる分野において直面している問題を明確にし、改善を進めるために、町長およびその他の政党と効果的な調整を行うことについて。
- \* 女性が直面している課題に対処し、パルサ地区で起きる対立への対処について。
- \* Dhurmi Sauraha のレイプ被害者にされたダリット女性を捜し出すことについて。
- \* この地区で、4月から11月の間、女性に対する暴力事件が1400件起きた。すべて地区警察に通報され、解決された。この問題に関して、女性に対する暴力を抑えるために、地方レベルでアピールが出された。

成果

- \* 該当地区でのDVが減少した。
- \* 参加者全員で団結して、選出されたダリット女性議員にオリエンテーションを行うようFEDO中央に要請した。
- \* その会議でパルサ支部会長のナギ・デビ・ゴサイはダリット女性のために声を挙げた。
- \* 女性のリーダーシップ養成。
- \* 地区レベルのプログラムにダリット女性メンバーが関わること。

#### 4. ダリット女性の課題に関する夫婦、義母・義理娘、ジャーナリストとの意見交換会

ビルガンジ市 16 地区ではこの問題に関するプログラムに引き続き取り組んだ。義母、義父、夫婦の間の対話が円滑に行くことをめざし、ビルガンジ地区1と2でプログラムが実施され、合計36人が集まった。

ジャーナリストを対象にしたダリット女性に関する対話促進のプログラムを2019年2月1日に地区の児童福祉会館で行い、ダリット女性が被害にあった事件に関して話しあった。

会議参加者からの意見：

- \* 政府は法律と政策に基づき施策を行うべきである。
- \* ダリットのデータは適正に保管されるべきであり、そのデータに基づいて施策が行われるべきである。
- \* 選挙で選ばれたメンバー議員と効果的に協力しあい、グループをより強固でパワフルにすべきである。
- \* 選出された人々へのリーダーシップ養成プログラムを実施すべきである。
- \* 政府はダリットの人びとに手を届かせていない。政治家がその間に立つべきである。
- \* ダリットは政治的に意識化されるべきである。
- \* リーダーシップのプログラムを頻繁に行うべきである。

### 3. 活動報告



ジャーナリストをまじえた意見交換会

### 5. 保健衛生のための集会

第 109 回国際女性デーの 3 月 8 日、FEDO パルサはダリット女性の保健への権利を主なスローガンとして掲げて集会を行った。政府および NGO の両方から参加があった。



国際女性デーでのデモ行進

### 6. 女性グループ対象のジェンダー平等と女性のエンパワメントの1日トレーニング

FEDO パルサ支部はダリット女性への暴力削減のため、ビルガンジ第 16 地区グループの女性を対象に、5回のトレーニングを実施した。テーマはジェンダー平等と女性のエンパワメントであり、女性の権利や女性に対する暴力の課題について、またリーダーシップ養成に関してトレーニングを受けた。

### 3. 活動報告

トレーニング開催日	参加人数
2018年5月18日	23人
2018年8月10日	26人
2018年11月25日	22人
2018年12月3日	22人
2019年2月28日	20人

トレーニングで主に議論されたテーマ:

1. ダリット女性をエンパワーする必要性
2. 女性の権利に関する議論
3. 女性に対する暴力とエンパワメント

成果:

1. コミュニティで人びとが活動する力を育てた。
2. 村人たちはエンパワメントとその重要性に関心をもった。
3. 社会発展のために女性が重要な役割を果たすと考えるようになった。
4. トレーニングのあと、人びとは力をつけたと感じるようになった。
5. 教育は優先事項であると考えようようになった。
6. 女性たちは社会に変化をもたらすことができると自信を持ち始めた。



1日トレーニングの風景

### 7. 地区レベルネットワーキングとコーディネーション

今年度の事業実施状況を評価するため全部で4回のモニタリングを行った。

2018年6月27日、ムスカン・ダリット女性グループとブタデビマイ・ダリット女性グループのメンバー計31人が集まってモニタリングを受けた。2018年9月28日、サンガム・ダリット女性グループとシリプルワス・ダリット女性グループのメンバー計25人が集まってモニタリングを受けた。2018年12月19日と2019年2月26日にも、チェタ

### 3. 活動報告

ナ・ダリット女性グループとジャヤマハビル・ダリット女性グループの計 46 人が集まってモニタリングを受けた。

モニタリングの結果

グループ結成の肯定的側面:

- \* グループミーティングが定期的開催されること。
- \* 女性たちは熱心に参加している。
- \* 女性たちは団結して女性に対する暴力をなくし、声をあげている。
- \* 女性グループはまた、地元の人びとにアルコールの否定的な効果について啓発を行い、アルコール依存をなくそうとしている。
- \* 女性たちは自営業あるいは独立して仕事をしている。今、女性たちは小さな食料品店を開店しようと準備中であり、また家禽の飼育を始めようとしている。
- \* 女性グループのメンバーたちは月 100 ルピーの貯蓄を始めた。年にして 16,000 ルピーになる。

将来考慮すべきこと:

- \* 女性グループが力を合わせて闘っているにもかかわらず、人びとは今もって不可触制と差別の犠牲者である。
- \* 人びとは今、環境あるいは周囲を清潔に保つことに大きな関心をもっている。
- \* リーダーシップ育成とスキルトレーニングをもっと女性たちに提供すべきである。

学んだこと:

- \* ステークホルダーとの定期的な会合が必要である。それによってコミュニティの女性たちが直面している問題や課題について気づいてもらう。
- \* 被害者とステークホルダーの間がうまく調整がとれていれば、正義がなされる。
- \* 前面に立つリーダーおよびその他のメンバーに、法律のオリエンテーションを行うべきである。
- \* 地区委員会に選ばれたダリット女性へのトレーニングは極めて重要である。それによりダリットコミュニティがエンパワーできる。
- \* ジェンダーに基づく暴力に終止符を打つために、夫婦のトレーニングをもっと行うべきである。

課題:

- \* 地元の人びとの先入観にとりつかれたマインドセットを変えることは難しい。
- \* 地方行政の現状により、不均衡な政策が作られている。
- \* エンパワーされ、文字の読み書きができる人は強いと言われている。パルサの現状を見れば、依然として多数の女性たちがエンパワーされておらず、文字も読み書きができない。それが、低い自尊心や孤立の原因となっている。
- \* キャンペーンやトレーニングの準備過程でメンバーの間に効果的な協力や調整があまりない。

まとめ:

ダリットはつねに社会の底辺に置かれてきた。カーストやジェンダーに基づく差別、権利意識の欠如、非識字、貧困などにより、ダリットは保健サービスや施設へのアクセスをほとんどもつことができていない。ダリットは多くの健康上の問題を抱えているが、それにお金を使うことはできない。ダリット社会にあるこうした問題をなくすため、ダリット女性がこの活動に関わることは非常に重要であり、同時に、この事業を継続させることは非常に効果的となる。